第68回

上海市の最新高齢社会状況

上海市民生局は今年3月20日に、2016年の高齢者人口や事業発展に係る統計を発表しました。

昨年末時点の上海市戸籍人口1449万9800人に対して、60歳以上は457万7900人（高齢化率31・6％）、65歳以上は299万3000人（高齢化率20・6％）となり、わが国の政令指定都市上位である名古屋市や大阪市の総人口を高齢者数だけで上回る膨大な数となっています。（因みに中国の高齢社会を見る時は60歳以上人口を基準とします）

また、老年扶養数を見ても生産年齢人口が扶養する高齢者人口割合は29・7％（前年比1・9％増）、独居老人の数も前年比1万9400人増の28万3300人と、まさに人口オーナス期を迎えていると考えられます。

◆◆◆

その他の状況として、養老保障状況は60歳以上人口に対し加入率は92％、養老サービス整備状況は全市老人ホーム前年比9100床増の13万2800床（702棟）、長者の家（小規模多機能）は前年比51件増の73件、デイサービスは前年比81件増の488件、老年大学やボランティア団体数も着々と増加、更には長期介護保険制度導入の試行等、急速に進む高齢社会への整備が急ピッチで進んでいるのが感じ取れます。

また、昨年11月に上海市で開催された国際健康促進大会では中国全土の模範的健康都市となるべく国務院が発表した「健康中国2030」の13計画を9つ上回る「健康上海2030」が発表されました。体育館の整備や無料開放による運動促進、大気・水・土壌汚染予防改善計画等、基礎健康レベルの底上げも目指しています。

国内は勿論、世界の健康都市の見本となるべく、様々な試みを実施する上海市。健康寿命延伸を考える上で、更に熟考していかなければならない「介護予防」の分野について、近い将来、いっそう注目されることが予想されます。

高齢者社会への整備にアクセル

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～

ゲストハウス総経理
稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。